

製造業

〈食料品〉

〔醤油・味噌製造業〕

輸入原料の価格高騰により、収益・売上ともに悪化しているが、価格に転嫁できず苦戦している。

〔パン製造業〕

夏季に入り、猛暑のため、例年以上に売上減少傾向である。

〈繊維・同製品〉

〔織物業〕

原料高・仕入コストの上昇、更に電気料金の値上げによる収益面の圧迫が懸念される。

〈木材・木製品〉

〔仏壇仏具製造業〕

お盆前のため、組合員の事業所も忙しいようである。しかし、小物の購入、修理などが多く、製品本体の購入は少ない。

〔製材業・木製品製造業〕

ガソリン・軽油の価格上昇などで依然として厳しい。

〈印刷〉

〔印刷業〕

継続して低水準である。地場大手がアウトソーシング先を中国にシフトするなど地元業者には痛手である。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳鉄铸件製造業〕

生産は全体的に需要に若干の動意がみられ、前年同月より改善傾向がみられる。収支面では、電気代の大幅な値上げ、円安による材料費のアップなどが響き、引き続き厳しい状況にある。

〈電気機械器具〉

〔電気機械器具製造業〕

ガソリン価格が7月に8円近く上がり、電気代アップとともに資材が値上がりしてきており、それを価格に転嫁できないため、収益が上がらない。一部自動車関係が忙しく、人(若者)が集まらない状態である。

非製造業

〈卸売業〉

〔機械器具卸売業〕

廃車の仕入台数が減少して業務量が減っている。また、中古部品の販売が伸びず各社とも経営状況が悪化している。

〈小売業〉

〔書籍・文房具小売業〕

最盛期に比べ半分以下に店の数も減少するも、まだ下げ止まりせず、閉店する殆どの理由は後継者がいないというものである。

〔鮮魚小売業〕

温暖化のせいもあり、例年に比べなお一層魚が少なく、仕入が極めて困難である。それに連動して販売も低下している。

〈商店街〉

〔福岡市〕

今月は35℃以上の日が続く記録的な猛暑でお客様の来店もなく昼過ぎになると誰も通っていない。

〔北九州市〕

集中豪雨で膝下浸水20店で4～5日影響があった。連日猛暑で商戦厳しい中、若い力で商店街内は明るく元気である。

〈サービス業〉

〔演劇業〕

公演計画を去年と違う形にした事が売上増に繋がった。

〔ビル管理業〕

前年同月比の売上は横ばいの状態で現状維持。これからの課題は消費増税に対する対応である。

〈建設業〉

〔総合工事〕

各職種全般において技術者不足となっている。

〈運輸業〉




〔道路貨物運送業〕

円安により燃料コストの負担が大きくなっており、収益状況は悪化している。

福岡県の業種別DI値の変化

(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前 年 同 月 比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰	設備操業度	雇用人員	景 況
製 造 業	食料品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	↑	→	→	↓	→	→	→	→
	木材・木製品	↑	→	→	→	↑	→	↑	→	↑
	印刷	→	→	→	→	→	→	→	↓	↓
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	↓
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↓	↓	→	↓	↓	→	↓	→	↓
非 製 造 業	卸売業	↑	↓	↑	→	↑	↑	—	→	↑
	小売業	→	→	↑	→	↓	→	—	→	↓
	商店街	↓	↓	→	→	↓	↓	—	→	↓
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	→
D・I		-11	-10	1	-9	-23	-12	-11	-3	-27

	増加・上昇・好転		不変		減少・下落・悪化
---	----------	---	----	---	----------

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

- 「売上高」DIは18ポイント、「販売価格」DIは20ポイント、それぞれ昨年同月比で上昇している。
- 昨年同月比では、「設備操業度」DIを除く全ての指標で上昇している。

全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>